研究報告書第３０２号

地域における子どもの居場所づくりについての調査研究

平成１８年３月

埼玉県立総合教育センター

目　　次

Ⅰ　研究の概要 ---------- 1
1　主題設定の趣旨 ---------- 1
2　研究のねらい ---------- 1
3　研究の進め方 ---------- 1
4　研究の経過 ---------- 2

Ⅱ　各所における「地域における子どもの居場所づくり」についての取組事例
1　所沢市立上新井小学校 ---------- 3
『　上新井小学校ふれあい自然体験農場「ほうさく村」　』
2　春日部市立南桜井小学校 ---------- 6
『　寺子屋「南小っ子」と子どもたちの居場所　』
3　久喜市立久喜小学校 ---------- 13
『　久喜市地域子ども教室「くきっ子ゆうゆうプラザ」　』
4　大利根町子ども会育成連絡協議会 ---------- 18
『　地域との関わりを大切に子どもたちのよきサポーターとして　』
5　東松山市子ども会育成連絡協議会 ---------- 24
『　東松山市子ども会育成連絡協議会による「子どもの居場所づくり」　』
6　川口市立上青木小学校ＰＴＡおやじの会 ---------- 26
『　上青木小学校ＰＴＡおやじの会による「子どもの居場所づくり」　』
7　越谷市立東越谷小学校ＰＴＡおやじの会 ---------- 28
『　地域における子どもの居場所づくりについて　』
8　県教育局生涯学習部生涯学習文化財課 ---------- 31
『　子どもたちを心豊かにのびのびと育む地域づくりを
～　地域子ども教室推進事業の定着化をめざして～　』

Ⅲ　「地域における子どもの居場所」活動参加者・不参加者へのアンケート調査
---------- 35

Ⅳ　研究のまとめと今後の課題 ---------- 42
◇　資料
◇　研究指導者・研究協力委員・担当所員 ---------- 43

【調査研究の概要】

子どもたちの健やかな育成のためには、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力の充実を図るとともに、それらの教育力を結集していけるような環境づくりを行うことが重要である。近年の子どもたちを取り巻く社会環境の変化は、かつて遊びや生活の中で育まれてきた生活能力や社会性、道徳性といった人間形成にも影響を及ぼしてきている。そこで今、子どもが安心していられ、様々な体験活動ができる「子どもの居場所づくり」活動を進めることが何よりも重要であると考える。

本研究では、県内の「子どもの居場所づくり」活動を進めている地域の小学校や子ども会、おやじの会等の実践を広く紹介すると共に、「子どもの居場所づくり」活動を進めている地域の小学校の児童を対象に事業の認知度や参加による生活への影響等の調査を行った。今後における事業の展開と地域活動推進のための基礎資料としてまとめた。